

## キリンググループ 2017年5月販売概況レポート

### 1. キリンビール社

- ・ビール類は、出荷日が昨年に比べて1.5日多かったことや、平年よりも気温が高かったことなどが影響し、プラスとなった。
- ・ビールは、「一番搾り」本体が好調に推移し、特に缶は2桁増となった。
- ・新ジャンルは、4月に発売した「のどごしスペシャルタイム」が100万ケースを突破するなど好調に推移し、「のどごし」ブランド計で2桁増となった。
- ・ノンアルコールビール系飲料は、「零ICHI」が年間目標の約4割となる55万ケースを達成し、6月は当初予定の約3倍の増産を予定している。
- ・RTDは、4月出荷分よりリニューアルした「氷結」ストロングシリーズが大変好調に推移しており、市場の伸びを上回って着地したと見られる。好調を受けて、6月は年初予定の3割増産を計画している。

カテゴリ	前年比
ビール類計	110%
ビール計	104%
発泡酒計	114%
新ジャンル計	112%
RTD計	124%

### 2. ミルシャン社

- ・ワインは、国内製造ワイン、輸入ワインのいずれもプラスとなり、ワイン合計でも2桁増と大きく伸長した。
- ・「シャトー・ミルシャン」は、昨秋以降の新ラインアップ発売より好調を維持し、+13%となった。
- ・「おいしい無添加」は、母の日の店頭活動強化も寄与し+17%となった。
- ・中高価格帯「カッセル・テル・デアプロ」は、店頭活動強化、Webプロモーション、キャンペーン実施により2桁増となった。

カテゴリ	前年比
ワイン合計	115%
国内製造ワイン計	110%
輸入ワイン計	122%

### 3. キリンパレヅ社

- ・清涼飲料計は、+7%と好調に推移した茶系飲料がけん引し、プラスとなった。
- ・午後の紅茶ブランドは、4月にリニューアルした「午後の紅茶 おいしい無糖」の好調に加え、「午後の紅茶 マーティラスティ」の新発売が寄与し+4%で着地した。
- ・生茶ブランドは「生茶」の好調に加え、「生茶デカフェ」の新発売が寄与し+9%で着地した。
- ・健康・スポーツ飲料は、「ライザッププロテインボトル」や、機能性表示食品「サブルモン」が引き続き好調で+22%と伸長した。
- ・「アルカリイオンの水」好調に加え、「晴れと水」の新発売<sup>\*</sup>が寄与しミネラルウォーター計で+13%と伸長した。  
\*東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県、新潟県での発売。

カテゴリ	前年比
清涼飲料合計	102%